

平成11年度

自然保護センター年報

平成12年4月

福井県自然保護センター

目 次

展 示 事 業	1
1. 展示項目	
2. 新設展示内容	
3. 入館者数	
資 料 収 集 事 業	2
1. 標本資料など	
2. 視聴覚資料	
3. 文献資料	
4. 主な製作・制作品	
指 導 普 及 事 業	3
1. 普及啓発誌の編集および発行	
2. 自然観察会など	
3. 自然愛護	
4. 自然観察の森ガイド	
5. 天体観望会など	
6. 講師派遣	
研 修 養 成 事 業	6
1. ナチュラリスト養成	
2. ナチュラリストリーダー養成	
調 査 研 究 事 業	7
1. 渡り鳥保全調査	
2. ガンカモ科鳥類生息調査	
3. 希少野生生物種（イヌワシ）の保存事業	
4. 自然観察の森周辺環境調査	
5. その他	
常 設 展 示 更 新 事 業	10
そ の 他	11
1. 委員の受託	
2. 外部投稿	
3. 学会等での発表	
4. 自主研究	
気 象 デ ー タ	13

I. 展 示 事 業

1. 展 示 項 目

本館

【1階】

- 「自然観察の森ガイド」コーナー
- 「福井の自然」コーナー
- 「経ヶ岳火山地形立体模型」
- 「奥越の自然」コーナー
- 「館蔵資料」コーナー
- 「テーマ展示」コーナー
- 「生物展示」コーナー
- 「珍しい鳥たち」コーナ
- 「ネイチャースタジオ」コーナー
- 「ネイチャーシアター」

【2階】

- 「自然の不思議」コーナー
- 「環境と生物」コーナー
- 「ビデオQ & A」コーナー
- 「森の学習室」

観察棟

【1階】

- 「太陽系展示パネル」
- 「天文写真」コーナー

【2階】

- 「隕石」コーナー
- 今月の主な天文現象

2. 新設展示内容

「館蔵資料コーナー」

平成10年10月までに収集した狂禽類（ハヤブサ、クマタカ、オオタカ、オオワシ）のバードカービングを展示した。

3. 入 館 者 数

	平成11年度	累計人数
本館	16,013人	177,722人
観察棟	15,235人	156,078人
計	31,248人	333,800人

ただし、観察棟入館者数は、天体観望会の参加人数を含む。



オオタカのバードカービング

Ⅱ. 資料収集事業

平成11年度は総計2,156点の資料収集を行なった。

1. 標本資料など

		哺乳類	鳥類	魚・両生 ・爬虫類	昆虫類	無脊椎 動物	植物菌類	岩石・鉱物 ・古生物	天文
収 集	11年度	0	28	0	103	0	982	0	0
	累 計	17	163	79	1,999	47	1,044	42	0
賦 入	11年度	0	0	0	0	0	0	0	0
	累 計	11	30	14	11	0	614	350	9
寄 贈 寄 託	11年度	0	1	0	0	0	0	0	0
	累 計	18	133	1	1,994	22	685	33	0
11年度計		0	29	0	103	0	982	0	0
累 計		46	345	94	4,004	69	2,343	425	9

寄贈標本には、鳥獣保護センターからの保管転換の資料を含む。

2. 視聴覚資料

		脊椎動物		昆 虫		無脊椎動物		植 物		地形・地質		天 文		その他	
		写真	映像	写真	映像	写真	映像	写真	映像	写真	映像	写真	映像	写真	映像
収 集	11年度	118	0	39	0	0	0	0	0	6	0	27	1	21	12
	累 計	1,361	1	1,656	4	25	0	1,315	0	842	0	317	2	319	11
購 入	11年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	累 計	0	65	0	29	0	6	0	18	0	34	12	15	0	4
寄 贈	11年度	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	5
	累 計	68	12	280	3	0	1	9	5	29	3	2	20	1	26
11年度計		118	0	48	0	0	0	0	0	6	0	29	6	21	6
累 計		1,429	781	1,936	36	25	7	1,324	23	871	37	331	37	320	41

寄贈標本には、鳥獣保護センターからの保管転換の資料を含む。

3. 文 献 資 料

		単行本(冊)	雑 誌(件)	報告書(冊)	その他(冊)
購 入	11年度	16	27	0	0
	累 計	1,216	-	0	0
交 換・配 布	11年度	0	4	132	468
	累 計	0	-	1,437	2,349
寄 贈	11年度	64	3	32	62
	累 計	275	-	171	232
11年度計		80	34	164	530
累 計		1,491	-	1,608	2,581

4. 主な製作 制作品

- ・映像資料作成「六呂師高原わくわくウォッチング」

Ⅲ. 指 導 普 及 事 業

自然保護の指導普及のために普及啓発誌の発行、自然観察会、傷病鳥獣の救護、自然観察の森ガイド、天体観望会などを行なった。

1. 普及啓発誌の編集および発行

自然保護の普及啓発誌として『ナチュラリスト（森遊改め）』、『ふるさと福井の自然』を編集・発行した。

(1) 『ナチュラリスト』

ナチュラリストの養成を目的とした自然保護普及啓発誌

発行：第 10 巻 1号、2号、3号（通算 27～29号）

(2) 『ふるさと福井の自然』

福井県の自然の現況の紹介や自然保護の制度内容など、自然保護行政のPRを図る冊子。

発行：No. 14「雄島の自然を楽しむ」

2. 自然観察会など

自然教育や自然保護の普及啓発のために自然観察ウォークを2回、自然観察会を6回開催した。

テ ー マ	実施月日	場 所	参加人数（人）
越知山の植物と歴史	4月25日	朝日町越知山	22
新緑のシイ林を歩こう	5月8日	敦賀市金ヶ崎城跡・天筒山	48
ヤマガラなのわばりと子育て	5月22日	自然保護センター	3
新緑の刈込池	6月12日	大野市上小池	30
植物採集と名前の調べ方	7月24日	自然保護センター	30
きのこの採集と見分け方	10月16日	自然保護センター	48
木ノ芽峠を歩こう	10月23日	今庄町木ノ芽峠周辺	50
海ワシと水鳥ウォッチング	2月6日	三方町三方湖、菅湖	21
計	8日間	8カ所	252

3. 自 然 愛 護

獣医師会委託の傷病鳥獣救護、野生動物の保護飼育、自然に関する相談と愛鳥教室を開催した。

(1) 傷病鳥獣救護委託（獣医師会）

		平成27年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	累 計
鳥 類	件 数	97	125	104	120	184	171	165	228	222	237	1,653
	個体数	97	125	104	121	184	171	166	229	239	241	1,677
哺乳類	件 数	7	8	9	7	8	16	17	13	16	17	118
	個体数	7	8	10	7	9	16	17	13	17	17	121
計	件 数	104	133	113	127	192	187	182	241	238	254	1,771
	個体数	104	133	114	128	193	187	183	242	256	258	1,798

(2) 野生動物の保護飼育

		平成2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	累 計
鳥 類	件 数	14	30	41	27	35	40	51	58	77	81	454
	個体数	15	33	48	32	56	49	91	85	107	144	660
哺乳類	件 数	4	8	6	1	8	16	19	11	6	7	86
	個体数	5	8	6	1	9	18	19	13	6	9	94
計	件 数	18	38	47	28	43	56	70	69	83	83	540
	個体数	20	41	54	33	65	67	110	98	113	153	754

注) 獣医師会による治療後のセンター・一でのリハビリ件数・個体数も含む。

平成4年度はその他に密猟2件68羽の保護あり。

(3) 自然に関する相談

分 類	平成11年度(件)	累 計(件)
哺 乳 類	41	401
鳥 類	123	1,027
その他脊椎動物	6	76
無脊椎動物	1	50
植 物	9	57
地 形・地 質	0	6
天 体・天 文	15	74
そ の 他	6	111
計	201	1,802

(4) 愛鳥教室

テ ー マ	期 日	場 所	参加人数
セラミック粘土で鳥の ブローチ作成	1月22日	自然保護センター (工作室)	20

4. 自然観察の森ガイド

- ・日曜日に来館者を対象にセンター周辺の自然観察の森をガイドした。
- ・冬期間中は森の学習室を野鳥観察室として一般開放し、餌台にくるヤマガラ、シジュウカラ、コガラ、アトリなどを屋内から観察した。

(期 間) 4月11日～3月26日の第2・第4日曜日
夏休み期間の毎日(月曜は除く)

(参加者数) 289人

5. 天体観望会など

天体観望、プラネタリウム投影と天文教室を開催した。

- (1) 一般対象の天体観望会：土曜日の夜、一般の人たちを対象にした。

(実施回数) 29回

(参加者数) 1,409人

- (2) 事前申込による天体観望会：火曜日～金曜日、主に団体予約の人たちを対象にした。

(実施回数) 36回

(参加者数) 1,317人

(3) プラネタリウム投影：火曜日～土曜日は団体予約を、日曜日は一般を対象にした。

(実施回数) 203回
(参加者数) 4,147人

(4) 天文教室

5月～10月の半年間、毎月1回違ったテーマで、6回通して参加できる初心者20名を対象に天体観測の方法を指導・普及した。

テ - マ (サブテーマ)	期 日	場 所	参加人数
夜の星空を楽しもう		自然保護センター観察棟	
・星座早見盤を使って星座を見つけよう	5月22日		20
・星空散歩をしよう	6月26日		(雨天中止)
・部分月食を見よう	7月28日		13
雨天のため、実際の観察はできなかった。屋内で、月食の仕組みや望遠鏡についての講義を行った。			
・天体望遠鏡を作ろう	8月21日		12
・星雲・星団を見よう	9月11日		(雨天中止)
・秋の星空散歩をしよう	10月9日		11

(5) 特別天体観望会

テ - マ	期 日	参加人数	備考
しし座流星群を見よう	11月17日～11月18日	2	曇天のため観測できなかった

6. 講 師 派 遣

他機関からの要請に応じ、センターの担当職員を講師として派遣した。

月 日	氏 名	演題または内容	場 所	依 頼 者
4月18日	多田 雅充	勝山の山菜	勝山市教育福祉会館	勝山市青年会議所
7月15日	松村 俊幸	小論文教養講座 「自然環境保全の現状について」	県立高志高等学校	県立高志高等学校
7月27日	亀谷 良治	ふるさとクラブ「夏の星空案内」	自然保護センター	大野市シルバー人材
8月3日	多田 雅充	キャンプ砂防 in 真名川	大野市巢原平家平	建設省福井事務所
8月19日	大迫 義人	自然観察の方法―鳥類―	福井市少年自然の家	日本自然保護協会
8月29日	松村 俊幸	イトヨシンポジウム	多田記念大野有終会館	大野市教育委員会
9月22日	多田 雅充	スライドで見る奥越の植物	勝山市教育福祉会館	勝山市教育委員会
9月28日	大迫 義人	愛鳥教室	勝山市平泉寺小学校	勝山市平泉寺小学校
11月6日	多田 雅充	おもしろい植物観察	大野市六呂師小学校	大野市六呂師小学校

IV. 研修養成事業

自然保護の普及・啓発のためにナチュラリストやナチュラリストリーダーの養成を行なった。

1. ナチュラリスト養成

- (1) 平成 11 年度ナチュラリスト新規登録者数 296 人
 (累計 5,079 人 うちリーダー登録 75 人、サブリーダー登録 22 人)

2. ナチュラリストリーダー養成

(1) ナチュラリストリーダー養成講習会

テ ー マ	月 日	場 所	参加人数
アカトンボの渡りとその調べ方	8月7日	自然保護センター	39
ナチュラリストリーダー県外研修報告	～8日	大野市赤兎山	19
夏の星空と流星観測	8月12日 ～13日	自然保護センター	43

(2) ナチュラリストリーグ} 県外派遣研修

計3人のナチュラリストリーダーの県外派遣を行なった。

参加者	テ ー マ	月 日	場 所
石本昭司	ネイチャークラフト	10月29日～31日	国立科学博物館付属自然教育園
中村隆夫	ネイチャークラフト	10月29日～31日	国立科学博物館付属自然教育園
高橋陽子	第2回「油汚染対策推進研修会」	2月28日～3月1日	海上災害防止センター防災訓練所



「アカトンボの渡りとその調べ方」の調査風景



アキアカネ

V. 調査研究事業

福井県内の自然環境を把握し、自然保護対策の基礎資料に資するために、計4件の調査を行なった。また、環境庁委託の自然環境保全基礎調査の調査協力を行なった。

1. 渡り鳥保全調査（昭和52年度～）

- （目的）鳥獣保護区、特別保護地区および休猟区に生息する鳥類の種、繁殖状況と生息密度を明らかにして、鳥獣保護事業の基礎資料とする。
- （期間）平成11年6 - 7月（夏期）と12～翌1月（冬期）に2回
- （調査人数）日本野鳥の会福井県支部会員など12人
- （方法）合計20カ所の海岸で実施した。調査区域内に2～3km程度の調査ルートを設けて、片側25m以内に出現した鳥類の種と個体数および繁殖状況を記録した。
- （結果概要）現在、整理・分析中（Ciconia vol. 9に掲載の予定）。
- （担当者）大迫義人・西垣正男

2. (委託)ガンカモ科鳥類生息調査（昭和44年度～）

- （目的）福井県内に渡来するガンカモ科鳥類の生息状況を把握し、鳥類保護行政の資料とする。
- （期間）平成12年1月9日、16日
- （調査人数）日本野鳥の会福井県支部会員 のべ71人
- （方法）福井県内の代表的なガンカモ科鳥類の渡来・生息地である16カ所の湖沼および河川で、確認された種と個体数を記録した。
- （結果概要）・総計21種、30,688羽のガンカモ科鳥類が記録された。そのうちガン類2種、2,138羽、カモ類18種、28,537羽であった。
 - ・環境庁指定の絶滅危惧 類のトモエガモ、ヒシクイ、準絶滅危惧種としてマガンが記録された。
 - ・ガン類の記録個体数は、平成5年度（7年度除く）から1,000羽を超えるようになった。
 - ・最も記録種数の多かった調査地は、日野川と菅湖で13種であった。次いで久々子湖、北潟湖、三方湖、足羽川であった。
 - ・最も記録個体数の多かった調査地は日野川で6,040羽であった。次いで菅湖、足羽川、九頭竜川中流域の順であった。
 - ・最も多く記録された種は、マガモの計16,662羽で、次いでコガモ、カルガモ、ヒドリガモの順であった。
- （課題）・ここ10年、本県でのガン類の渡来数が増加し、越冬地として確立してきている。その渡り経路、分散状況や利用環境などについての詳しい調査が必要であろう。
- （担当者）西垣正男

3. 希少野生生物種（イヌワシ）の保存事業（平成8年度～12年度）

- （目的）福井県内に生息するイヌワシについて、生息及び繁殖状況を把握し、その保護対策を検討し確立するものとする。

(期 間) 平成11年度

(調 査 員) 福井県希少猛禽類調査委員会

(方 法) 1. 繁殖状況のモニタリング

前回の希少猛禽類(イヌワシ)保護管理調査事業で確認された営巣地の利用状況と繁殖の成否を追跡調査する。

2. 人工給餌

前回の希少猛禽類(イヌワシ)保護管理調査事業において、ペアと営巣地が確認されながら繁殖成功しなかった4ヶ所で、人工的に餌を与えることによって繁殖成功へと導く。その結果、繁殖失敗の原因の中で、餌量の不足が占める程度を把握する。

(結果概要) 1. 繁殖状況のモニタリング

- ・ 生息地コードの1702、1703、1705において繁殖確認し、1702と1705では巣立ち後の幼鳥も確認した。
- ・ 1702、1703、1705において監視カメラをセットし、インターバル1分、録画時間3秒のシステムで給餌状況を記録した。1703は、設置期間が短く十分なデータを得られなかった。
- ・ ヒナの巣立ちは、1702が6月8日と、1705が6月22～25日であった。巣立ちヒナ数は、いずれも1羽であった。
- ・ 1701は、抱卵交代を確認したが、その後失敗した。
- ・ 1704は、交尾や巣作りを確認したが、産卵まで至らなかった。
- ・ 1706は、交尾や縄張り防衛を観察したが、その後の繁殖行動は観察されなかった。
- ・ 1999年の繁殖成功率(巣立ち後の幼鳥を確認したテリトリー数/生息ランクA・Bで繁殖状況が確認されたテリトリー数)は、2/6であった。

2. 人工給餌

- ・ 非繁殖期から求愛期、造巣期にかけて1705で実施し、成功した。造巣期の給餌成功は、これまでの最大の課題であったが、暖冬であったことが幸いし初めて成功した。しかし、2月は降雪で入山が不可能になり、産卵期まで給餌を継続することはできなかった。
- ・ 給餌事業は、本年度で終了した。

(課 題) 1. 繁殖状況のモニタリング

- ・ 厳冬期のモニタリングは難しいが、冬期でも入山可能な生息地に、天候に合わせて調査が可能な調査員を配置することで対処したい。
- ・ 無人監視システムは、近距離で巣内を観察できる営巣地が少ないことから、数年に1度の数少ないチャンスを確実に利用しなければならなかった。しかし、本年度は同時に3箇所もの監視が可能になり、システムの確保と維持管理が追いつかず、十分な監視ができなかった。また、システムの疲労からくる故障も多かった。バックアップのシステムを用意しておかないと、数少ない機会を失うことになる。
- ・ 繁殖成功率は1991から95年の0/6～2/6から、1996年と1997年が3/6、1998年と1999年が2/6となり、やや上昇傾向にある。また、最も数多く給餌を実施した1705の過去4年間の繁殖成功率が、3/4の高率に転じた。

(担 当 者) 松村俊幸

4. 自然観察の森周辺環境調査

自然保護センターの周辺の自然を調査し、自然教育の資料とする。

(1) 六呂師高原の植物の写真撮影

- (結果概要) ・主に神明山、妻平湿原、池ヶ原湿原に自生する木本を中心に撮影し、「福井の樹木」の編集等に活用した。
・自然観察の森に咲く草木の花をデジカメで撮影し、本館の入口展示ホールにて「今咲いている花」コーナーを設け、来館者向けに新しい自然情報として紹介した。撮影した花は174種。
- (課題) ・普及事業の中で植物の写真は標本以上に利用価値がある。今後はコケやシダも含め、六呂師高原に自生する主な種の写真を撮影していきたい。
・自然観察の森の花暦を作成していきたい。
- (調査者) 多田雅充・亀谷良治

(2) 鳥類標識調査

- (結果概要) ・計17種82羽の鳥類を標識・放野した。そのうち、個体識別用のカラーリングを装着したシジュウカラ類は、2F図書室からの観察に利用した。
- (課題) ・この調査も9年目を迎え、個体数も900羽に達しようとしている。その結果、9年以上も生存している個体も確認され、貴重な資料が集積されてきている。データベース化する必要がある。
- (調査者) 大迫義人・西垣正男

5.その他

(1) 福井県自然環境保全調査研究会への協力

1.自然環境保全基礎調査「生物多様性調査 - 種の多様性調査 - 」(環境庁委託、平成6年度～11年度)

- (目的) 国内に産する野生動植物に関する全国的な分布概況およびそれに関連する資料を把握するとともに、特にその存在基盤が脆弱で減少傾向にある種などについて、現地調査により詳細な分布現況、生息・生育状況などの調査を行ない、国内の生物多様性保全施策の基礎となる資料を得る。
- (期間) 平成11年度
- (方法) ・文献調査
調査対象分類群に関する分布情報を整理する。
・標本調査
調査対象分類群の標本を整理する。
・現地調査
レッドデータブック掲載種および重点調査種の分布・生息状況を調査する。
- (結果概要) ・福井県昆虫目録(第2版)のトンボ類、セミ類、甲虫類、チョウ類、ガ類。また、現地調査によりホテアツモリソウ、キバナアツモリソウ、サルメンエビネ等の分布現況等についての情報を得た。
- (担当者) 多田雅充・西垣正男

VI. 常設展示更新事業

福井県自然保護センターの常設展示を広く県民の要望に応えた内容に更新するため、展示更新専門委員会設置要領に基づき、展示更新専門委員会を設置し、展示基本構想の策定を開始した。

本年度は以下の通りに、開催された。

- (1) 第1回展示更新専門委員会（10月29日）
展示更新基本理念の協議が行われた。
- (2) 第2回展示更新専門委員会（2月28日）
展示更新基本理念及び、基本構成の協議が行われた。
（担当者）松村俊幸・西垣正男

Ⅶ. そ の 他

1. 委員の受託

氏名	委員名	委嘱先
多田 雅充	福井県植物図鑑作成事業編集委員	福井県植物研究会
松村 俊幸	河内川ダム自然環境検討会	嶺南振興局 河内川ダム建設事務所
	天然記念物（本願清水イトヨ生息地） 整備活用計画策定委員会	大野市教育委員会
	河川・水辺の国勢調査アドバイザー 高倉揚水発電計画	建設省・福井工事事務所 電源開発株式会社
	貴重鳥類検討委員会	立地環境部環境室
	近畿自動車道敦賀線自然環境検討会	日本道路公団関西支社 敦賀工事事務所 福井県道路建設課
	近畿自動車道敦賀線（舞鶴～大飯） 自然環境検討会議	日本道路公団関西支社 舞鶴工事事務所
	長尾山総合公園事業オオタカ生息 環境保全委員会	勝山市開発課
	奥越地域環境調査委員会	建設省・福井工事事務所 福井県道路建設課
冠山地域環境調査委員会	建設省・福井工事事務所 福井県道路建設課	
大迫 義人	応用生態工学研究会会誌専門編集委員	応用生態工学研究会

2. 外部投稿

氏名	雑誌名	題名
多田 雅充	福井県植物図鑑	福井のシダ・海藻
	趣味の山野草	福井県自然保護センターだより
大迫 義人	地域環境ニュース	環境問題における地域とは
亀谷 良治	趣味の山野草	福井県自然保護センターだより
松村 俊幸	福井新聞	ハヤブサの詩（4～12月の毎月1回）
	SYMNETNo. 8	福井県赤兎山におけるアカトンボ類の標高分布およびアキアカネの標識調査の結果
西垣 正男	趣味の山野草	福井県自然保護センターだより

3. 学会等での発表

氏名	学会名	演題
多田 雅充	植物地理・分類学会	表計算ソフトを利用した分布図の作成方法
	自然系調査研究機関連絡会議	福井県の自然保護行政の紹介

4. 自主研究

財団法人日本科学協会の笹川科学助成金の交付を受け、以下の研究を実施した。

氏名	研究テーマ
松村 俊幸	ハヤブサの舞うビル街の創造を目指して －繁殖成功のための営巣環境整備と普及啓発方法の研究－

Ⅷ. 気 象 デ ー タ

1.平成11年1月～12月

観測地：福井県自然保護センター芝生広場
(冬期間の1月～3月と12月は本館横で)

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備 考
平均気温	上 旬	1.1	1.3	6.2	9.2	17.8	21.4	21.2	28.9	24.6	20.1	13.3	6.4	年度平均 14.2
	中 旬	1.6	1.5	9.2	13.6	17.5	21.9	22.5	25.5	25.2	17.5	12.0	3.2	
	下 旬	2.7	2.7	6.1	12.3	18.0	21.9	27.3	26.0	24.3	14.9	9.7	3.2	
	月平均	1.8	1.7	7.1	11.7	17.8	21.7	23.8	26.8	24.7	17.4	11.6	4.2	
	平年値	1.4	1.6	5.2	11.4	16.7	20.0	23.4	25.3	21.1	16.1	10.1	4.6	
最高気温 (平均値)	上 旬	3.8	4.4	10.7	12.4	20.3	23.4	23.6	31.8	27.3	22.5	14.5	9.1	最高値 34.0
	中 旬	3.8	4.9	12.0	15.5	21.2	23.9	24.8	27.4	27.8	19.1	14.8	4.3	最低値 -2.0
	下 旬	6.1	5.7	9.9	14.7	21.9	23.3	30.0	27.7	26.2	18.0	11.2	6.0	年度平均 16.8
	月平均	4.6	4.9	10.8	14.2	21.1	23.5	26.2	28.9	27.1	19.8	13.5	6.4	
	平年値	3.8	4.4	8.9	14.5	19.6	22.2	26.0	27.6	23.5	18.0	12.5	7.0	
最低気温 (平均値)	上 旬	-1.1	-2.6	3.1	3.1	10.7	15.0	18.6	24.9	20.8	15.1	8.6	4.2	最高値 26.0
	中 旬	-0.6	-1.4	6.0	8.1	11.8	17.7	20.6	23.5	22.1	14.0	7.4	1.7	最低値 -7.0
	下 旬	0.9	-1.3	1.8	10.0	12.0	18.5	24.9	21.0	20.0	8.9	6.1	0.8	年度平均 10.4
	月平均	-0.2	-1.8	3.5	7.0	11.5	17.0	21.4	23.0	20.9	12.5	7.3	2.1	
	平年値	-1.1	-1.8	1.3	6.4	11.2	15.0	20.3	21.0	16.8	11.0	5.5	1.3	
湿 度 (平均値)	上 旬	75	72	59	51	47	60	74	54	71	66	66	72	年度平均 66.8%
	中 旬	73	72	58	60	60	64	78	74	75	69	65	85	
	下 旬	70	71	63	69	56	76	63	69	72	62	73	68	
	月平均	72.3	71.8	59.7	60.0	54.6	66.4	71.3	65.6	72.7	65.2	67.8	75.0	
	平年値	73.2	70.0	60.1	56.0	57.3	67.8	70.6	65.9	68.8	64.7	65.2	70.0	
気 圧 (平均値)	上 旬	1009	1011	1010	1013	1012	1009	1007	1008	1011	1015	1014	1018	年度平均 1011hPa
	中 旬	1015	1013	1011	1009	1010	1007	1004	1007	1009	1016	1015	1012	
	下 旬	1011	1014	1014	1011	1008	1006	1010	1009	1010	1015	1015	1014	
	月平均	1012	1013	1012	1011	1010	1008	1007	1008	1010	1015	1015	1015	
	平年値	1014	1013	1014	1013	1011	1008	1008	1013	1011	1016	1014	1016	
積 雪 (最高値cm)	上 旬	98	160	75									3	年最高値 160cm
	中 旬	120	133	40									25	
	下 旬	100	130	5							1	125		

(注) 平年値：9ヶ年(平成2年～10)までの平均値
平均気温：(最高気温+最低気温)÷2

発行日 平成12年4月30日

編集・発行 福井県自然保護センター
〒912-0131
福井県大野市南六呂師 169-11-2
Tel 0779-67-1655
Fax 0779-67-1656
